



磯部 亜希 議員

子育て支援のあり方について

問 家庭での保育世帯への支援について。

答 公的支援の不均衡を是正等の観点からも検討しているところです。

答 子ども未来部長

保育認定を受けていない場合に利用する保育サービスの無償化も含め検討しています。支援金は保育所等に入園した場合に発生する公的支援の不均衡を是正する観点、保育所等に預けて働くことにより得られる収入との比較という観点などから検討しています。

問 あくしよん・ぷらん2020への入園児童対策と見込みについて。

答 子ども未来部長

令和2年度当初は、保育人材の確保が非常に困難なことからやむなく40人の待機児童が発生する計画で、現実にはそれ以上発生しています。令和3年度には、公立の大規模園の認定こども園化による空き教室と保育士の活用や、さらなる保育人材確保対策等により、待機児童の想定を0としています。

問 兄弟姉妹が別々の保育施設に通われている現状と今後について。

ついて。

答 子ども未来部長

令和2年11月1日現在、24世帯おられます。できるだけ同じ園に入園できるよう調整していますが、保育の必要度の高い総点数上位から入園となることや、各園とも保育人材確保が厳しい中での運営であり、0歳から2歳の乳幼児の受入れを十分にできないため、ご希望に添うことが難しい状況です。

問 兄弟姉妹が別々の保育施設に通われている世帯の前年からの増減は。

答 子ども未来部長

前年の同じ時期では11世帯でした。今年度、倍増の原因は保育料無償化による申込みの増加と、比較的特定の園に低年齢児の入園希望が集中したことが挙げられます。

問 私立園の施設型給付費は年間、0歳児が約240万円、1・2歳児が約120万円であり、家庭保育世帯へも同じ支援をすることが子育てしやすいという認識や若者移住へも将来的につながるかと考えるが、支援金の検討は。

その他の質問



○住民自治協議会と区長連絡会について